

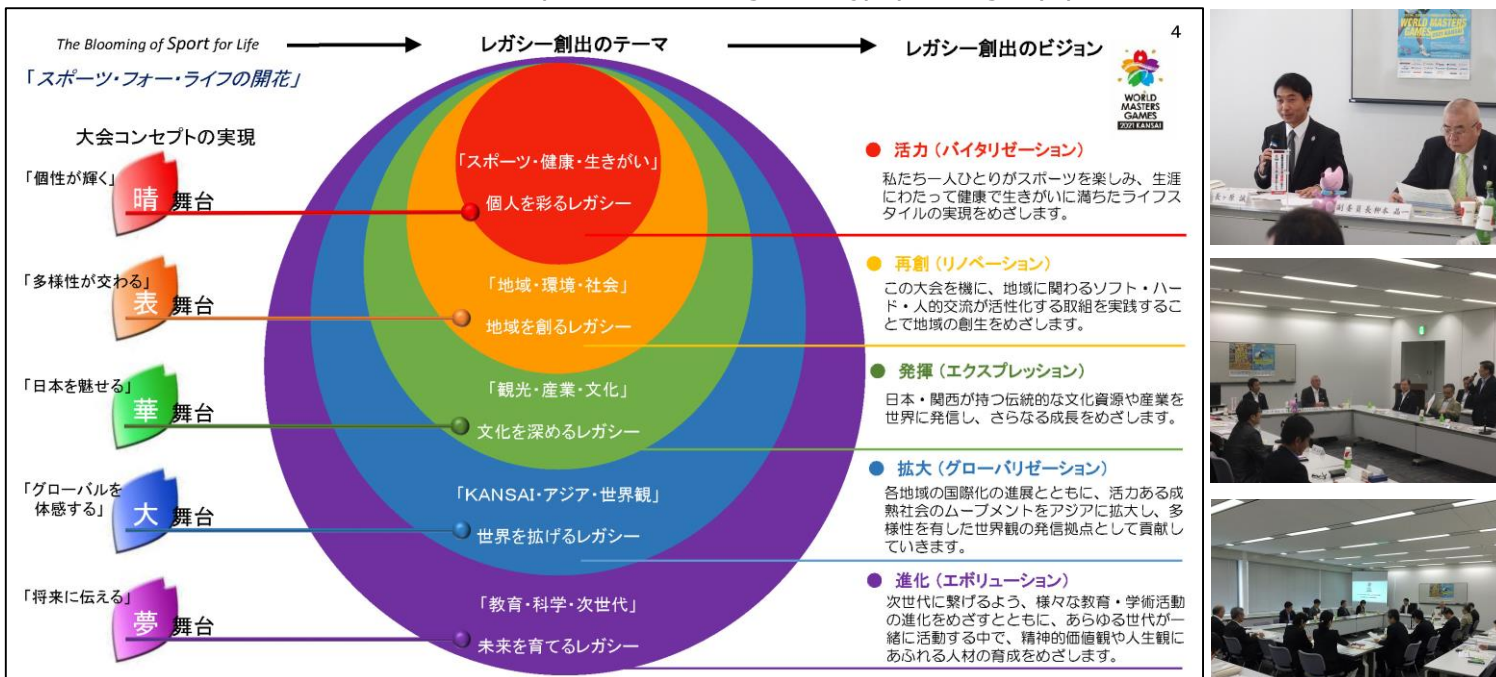
レガシー基本構想を策定しました

組織委員会は4月、レガシー創出委員会で検討を重ねてきた「レガシー基本構想」を策定いたしました。基本構想では、レガシー創出のテーマや基本視点のほか、「インクルーシブな考え方を取り入れた大会づくりをめざす」基本方針も掲載しています。

今後は、この基本構想をもとに、組織委員会が実施する具体的なアクションの検討を進めるほか、レガシー創出委員会において、実行委員会や地域の様々な組織や団体の主体的な参画を促す仕組みづくりについて協議を重ねていきます。

レガシー基本構想は組織委員会HPで公表しています。

【参考URL】大会ホームページ：http://www.wmg2021.jp/pdf/legacy.pdf



【図表】レガシー基本構想より抜粋 【写真】第4回レガシー創出委員会の様子

●組織委員会の活動

2017年2月 1日（水）	第2回インクルーシブな考え方を取り入れた大会づくりをめざす有識者会議
2017年2月16日（木）	第4回常任委員会
2017年3月14日（火）	理事会
2017年3月25日（水）	第3回レガシー創出委員会
2017年5月25日（木）	第4回レガシー創出委員会

組織委員会の予定（主なもの）

・ 2017年 6月 国際マスターズゲームズ協会（IMGA）による競技会場視察

ワールドマスターズゲームズとは

ワールドマスターズゲームズは、国際マスターズゲームズ協会（IMGA）が主宰し、4年ごとに開催される、概ね30歳以上のスポーツ愛好者であれば誰もが参加できる生涯スポーツの国際総合競技大会です。オリンピック・パラリンピックの翌年に開催され、1985年にトロントで第1回大会が行われました。2021年の関西大会は第10回大会、アジア初の開催となります。

一般財団法人 関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会事務局

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23F

TEL：06-6446-2021 FAX：06-6445-8541 MAIL：kansai-wmg@wmg2021.jp

HP：http://www.wmg2021.jp/ f https://www.facebook.com/wmg2021



大会マスコットスフラ



WORLD MASTERS GAMES 2021 KANSAI

NEWS LETTER Vol.04 2017年6月発行

ワールドマスターズゲームズ2017オークランド大会が開催！

ワールドマスターズゲームズ2017（WMG2017）オークランド大会が4月21日（金）から4月30日（日）まで開催されました。大会には、約100の国・地域から約28,000人が参加し、28競技45種目が行われました。

組織委員会では、開会式・閉会式に向けて、訪問団を結成。21日（金）の開会式には、井戸敏三会長をはじめ、構成府県政令市の知事・副知事・副市長らが参加。30日（日）の閉会式には、森詳介会長を中心とする関西経済界の方々が参加しました。



開会式の様子

●次回大会は2021年、関西で開催！

閉会式では、カイ・ホルム国際マスターズゲームズ協会（IMGA）会長から森会長へ大会旗が引き継がれた後、ジョン・ウェルズWMG2017組織委員会会長から、船出を意味するマオリ彫刻のパドルが贈られました。それに対し、関西からは日本の伝統工芸品である鯉のぼりを返礼し、「4年後に向けてアスリートやそのご家族、ご友人にも最高の環境を整えます。関西は世界遺産や自然の宝庫。食文化も有名です。治安に優れ、夜までお買い物や食事を楽しめます。2021年5月に関西でお会いしましょう（中略）」とのスピーチを行い、アジアで初めて、関西で開催される第10回大会への期待を高めました。



閉会式に登壇し、マオリ彫刻を受け取る森会長



大会旗の引き継ぎセレモニー



森会長によるスピーチ



閉会式参加者の様子

WMG2017に鈴木大地スポーツ庁長官も参加

4月22日（土）、鈴木大地スポーツ庁長官がWMG2017オークランド大会の10kmロードレース（マラソン）に出場されました。スタート前「ワールドマスターズゲームズ2021関西、頑張るぞ！」と宣誓。「ニュージーランドだけに9位（Kiwi）をめざす」と冗談を交えながらリラックスした雰囲気の中で競技に参加されました。10kmマラソンに参加した約370人とともに完走し、次回関西大会をPRしていただきました。完走後、鈴木長官は「私は元水泳選手ですが、10kmマラソンに参加したことにWMGの良さがあります。（中略）2019年、2020年はみる、ささえる大会、対して2021年はみんなで参加する大会にしましょう」とお話しされました。



オークランド大会でPRしてきました

●関西大会PRイベントを実施

4月22日（土）、WMG2017オークランド大会にあわせて特設したPRブース前にて、次回2021関西大会PRイベントを行いました。鈴木スポーツ庁長官、井戸会長などが参加し、現地の参加者にふるまい酒を行うなど、日本の文化と次回2021関西大会をPRしました。



鏡割りの様子（左から、大西組織委員会事務局長、高田駐ニュージーランド特命全権大使、鈴木スポーツ庁長官、仁坂和歌山県知事、橋本オークランド日本人会会長、村上京都府副市長、平井鳥取県知事、井戸会長、海野徳島県副知事、横山在ニュージーランド日本国総領事）

●PRブースを出展

WMG2017オークランド大会の期間中、クイーンズ・ワーフ（Queens Wharf）にて、ワールドマスターズゲームズ2021関西の特設PRブースを設置し、次回大会である2021関西大会をPRしました。

PRブースでは、関西大会及び開催府県政令市を紹介するパネルや映像を多くの方にご覧いただきました。また、在オークランド日本人会や日本人留学生の皆様にもボランティアとしてご協力をいただき、パンフレット等で関西大会の会場地や、府県政令市の魅力をお届けし、延べ約14万人に来訪いただきました。

また、PRブースではインタビュー映像の撮影を行い、オークランド大会参加者の皆様から、関西大会にかける意気込みを多数いただきました。このインタビュー映像は、大会FacebookやYoutubeにて随時公開しています。

【大会公式Youtube】https://www.youtube.com/channel/UCKxq6J5Tnip46pvn368IF_Q



日本人参加者の皆様にPRにご協力いただきました

WMG2017オークランド大会に出場、参加される方々にPRへの協力を呼びかけ、110人の日本人参加者に関西大会のオリジナルTシャツと関西大会PRカードを配布しました。協力者の方々には、競技会場でTシャツを着用いただくなど、関西大会をPRしていただきました。

各競技会場などで、Tシャツを着用いただき、大会PRを行っていただきました。



オークランド大会参加者レポート

「陸上を始めて50年 悲願の金メダル ～曽野政男さん～」

WMG2017オークランド大会2日目、10kmロードレース60-65歳の部に出場した曽野政男さん（63）が日本人金メダル第1号に輝きました。

50年前に陸上を始めた曽野さんは、自衛隊体育学校での特別体育学生や千代工業株式会社の実業団選手として活躍。これまで、世界マスターズ陸上への出場経験がありましたが、自身の最高は銀メダルで「悔しい思いがあった」と、これまで以上のトレーニングを重ね、体脂肪率3%台になるまで追い込みをかけたそうです。そして初めて出場したWMGで悲願の金メダルを獲得。他にも6kmクロスカントリーなど5種目に出場し、金銀銅の全てを含んだ計4個のメダルを獲得されました。

さらに、曽野さんにとってWMGは、多くの参加者と交流を深める場でもありました。日本から持ち込んだ日本国旗に現地で出会った参加者にサインとメッセージ、連絡先を書いてもらう活動を行い、大会期間中に1,000人以上と友好を深めた曽野さん。日本国旗を埋め尽くすほど多くのメッセージが集まりました。

曽野さんからは、「ずっと金メダルを獲ることを目標にしていた。途中で諦めかけていた時もあった。だが、WMGと出会い、金メダルを獲得できたことで夢と希望が持てた。本当に感謝している。100歳を超えるまで、WMGに出続けたいし、周りの人たちに、WMGの魅力を伝えていきたい」というお言葉をいただきました。

【写真上】10kmロードレースで日本人第1号となる金メダルを獲得

【写真下】組織委員会事務局に來訪いただき、メッセージ入りの国旗を披露いただきました。



「競技未経験のワカアマに挑戦!! ～京都女性スポーツの会～」

京都府下の14の女性競技団体（会員総数約8,000名）が加盟し、京都の女性スポーツの発展と振興に努められている「京都女性スポーツの会」から25人がオークランド大会に参加されました。今回挑戦された競技は、10kmロードレース（マラソン）とワカアマ（アウトリガーカヌー）でした。

10kmロードレースは11人の方がエントリーされ、多くの日本人が応援するなか全員が完走されました。ピンクで統一した女性たちはひととき注目を集め、彩りを添えていました。

6人で臨んだワカアマは、マスターズ文化を体感できた記憶に残るレースだったとのことです。未経験の競技参加にあたり、MYオールを持った海外の経験者たちは、レース前に、惜しみなく指導してくれたそうです。また、他の艇が次々とゴールするなか、思うように進まず苦戦する京都女性スポーツの会の艇に対し「初めての挑戦!」、「2021年関西大会のPRの為に京都から来た!」などのアナウンスが流れ、会場全体からの声援はたった一艘で漕ぎ続ける京都女性スポーツの会の競技者たちにも届きました。レースを終えたあと、他の競技参加者たちがオールのアーチを作って迎えてくれた時には、言葉にならない感情がこみあげたそうです。

京都女性スポーツの会の皆さんからは、「このオークランドでの体験を広く伝え、どの種目も誰もが楽しめるような大会になるよう協力していきたい。そして、今回温かく迎えてくださったスタッフの皆さんや、選手の皆さんに心から感謝し恩返しをしたい。」というお言葉をいただきました。



競技未経験のワカアマに挑戦



他の競技参加者たちとの交流も活発に行われた